

令和6年2月1日  
船橋希望学舎  
世田谷区立船橋希望中学校  
校長 菅野茂男  
学校関係者評価委員会事務局

## 令和5年度 学校自己評価報告書

### 1 地域との連携・協働による教育

考察等	<ul style="list-style-type: none"><li>学校だよりや学年だよりの発行により、学校での情報を保護者に伝えることで、保護者の理解を得ている。また、保護者からの思いも返信欄を通して学校に伝えやすくなっている。保護者会では各学年、各学級でICTや資料を活用して学校での生徒の様子を伝える工夫を行っている。</li><li>PTAと連携し、運動会のLIVE配信を行った。また、学芸発表会ではコロナ禍以降、始めて各学年の保護者の観覧を行った。</li></ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>保護者会に加え、各学年学級代表の方々との懇親会を実施し、情報共有を図る。</li><li>学校運営員会や学校支援コーディネーターの方々と連携し、共に生徒の成長に寄り添っていく開かれた学校を実現する。</li></ul>

### 2 「世田谷区の教育」で実現する質の高い教育の推進

#### (1) 学習指導

考察等	<ul style="list-style-type: none"><li>主体的・対話的で深い学びを意識し、授業づくりを行っている。教員からの一方通行の授業ではなく、ICTを活用し、生徒が自らの考えを深める時間や、仲間との対話を通じて学びを深めていく授業を行っている。また、自らの意見を仲間の前で発表する表現の場面も多く設定している。</li></ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>教員自身が学び続ける姿勢を忘れず、教材研究に取り組んでいく。また、ICT支援員と連携し、生徒の学習意欲を高め、深い学びに繋がる新しい授業の形を模索していく。</li></ul>

#### (2) 特別活動・学校行事

考察等	<ul style="list-style-type: none"><li>学校行事は生徒主体に取り組ませ、船橋希望中として作り上げてきた伝統を引き継いでいく意識が根付いている。行事を通して成功体験を積むことで、生徒の自己肯定感や自己有用感などを高めことができている。</li></ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>運動会では3学年のみの保護者へ公開し、その他はLIVE配信を行った。学芸発表会は各学年入れ替までの公開とした。来年度は体育館のキャパシティの問題で、学芸発表会の全学年公開は難しいが、運動会は全学年の保護者に公開できるように工夫したい。</li></ul>

#### (3) キャリア教育

考察等	<ul style="list-style-type: none"><li>1年生の職業講話、2年生の職場体験、3年生の上級学校訪問や面接に向けたマナー講座など、コロナ前に戻った活動や新たな取り組みも増え、充実した学習となつた。また、フナキボキャリア通信を定期的に発行し、キャリア教育の取り組みを保護者にも発信した。</li></ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>全学年足並みを揃え、キャリアパスポートの活用の場を増やしていく。</li></ul>

#### (4) 特別支援教育

考察等	・生徒の特性の把握に努め、全教職員で情報の共有を行っている。教育相談部会に担当教員と管理職に加え、SC、特別支援コーディネーター、包括支援員が参加し、長期欠席の生徒や特別な支援を必要とする生徒への指導の手立ての情報共有や改善等について協議している。
改善策	すまいるルームと連携し、研修等を通して発達障害への理解を深めていく。

#### 3 信頼と誇りのもてる学校づくり

考察等	・学校関係者評価アンケートや学校公開の際のアンケートを参考に、保護者や地域の意見を計画的に収集・分析し、授業改善等に努めている。 ・多くの教員がホームページ上の学校に日記の更新や学級だよりを作成するなど、情報発信を重要視し、信頼される学校づくりに取り組んでいる。
-----	--

#### 4 安全安心と学びを充実する教育環境の整備

考察等	・生徒にとって安心かつ安全で、充実した学習環境が整うように、日々の点検管理を適切に行っていく。また、学校主事と連携し、校内設備の細やかな点検を行い、設備の異常には早期対応を心がけていく。
-----	---